

(様式3)

令和6年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	明野児童館	所在地	伊勢市小俣町新村 399-3
指定管理者名	社会福祉法人 宮山	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童の健全育成を図るため、児童福祉法の規定に基づき、放課後児童健全育成事業を行う。		
業務内容	・運営及び事業に関する業務 (放課後児童クラブ事業、入退会に係る手続き・承認等、利用者負担の徴収等、施設の開放) ・管理に関する業務(伊勢市明野児童館の施設維持管理) ・その他の業務(管理上必要と認める業務)		
施設概要	施設面積(延べ床面積)283.03㎡、鉄筋コンクリート造2階建て 施設内容:遊戯室・集会室・図書室・事務室・炊事室・玄関ホール等)		
職員体制	館長を含め指導員19名		
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	21,013,000	19,057,000	20,061,205	1,004,205
		利用料金	4,326,230	5,222,777	5,814,421	591,644
		その他	1,437,774	1,493,529	1,252,064	△ 241,465
		計(a)	26,777,004	25,773,306	27,127,690	1,354,384
	支出	人件費	18,413,936	18,022,712	18,695,289	672,577
		管理運営費	3,722,477	3,085,580	3,372,244	286,664
		その他	1,536,922	3,452,380	4,479,865	1,027,485
		計(b)	23,673,335	24,560,672	26,547,398	1,986,726
収支差引額(a)-(b)		3,103,669	1,212,634	580,292	△ 632,342	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	・利用料金の増加は待機児童をなくすために定員をこえる児童を受け入れたため。 ・人件費の増加は、利用児童数増加への対応で職員配置人数を増やしたため。 ・その他の支出の増加は、光熱費や物価が高騰したため。
----------------------------------	--

3 評価（様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
・業務計画書に従い、管理運営を行なった。 ・新型コロナウイルスの感染は収束に向かったが、インフルエンザや他の感染症の心配が払拭できないため、感染症対策を継続した。 ・児童館活動・放課後児童クラブ活動ともに、館内での運動を伴う活動は原則中止とし、明野小学校体育館や隣接する児童公園等で、のびのびと活動できるようにした。 ○ 工作教室（個々の創造性を伸ばす） ○ プレイ・ドッジボール（集団活動を通して社会性を育む） ○ チャレンジ（目標に向かって個々の能力向上を目指す） ○ 大仏山ウオーク・たんぼアートツアー（地域とふれあう） ○ セタ飾り・夏祭り・秋のスポーツ祭等（季節を感じる） ・活動の様子は、たよりや掲示、スライドショー等で保護者に伝えた。 ・保護者アンケートの結果は全職員で共有し、貴重なご意見をもとに継続した改善を行なった。	施設の管理については適正に行われていた。 引き続き感染対策の重要性を子どもたちに理解させ、対応できた。 工作教室や体を動かす遊びを取り入れ、また季節の行事を実施するなど体と心の成長を促し、児童館の役割を担っている。 利用できる施設を積極的に利用し、児童の遊びが少しでも多くなるよう努めたことは評価できる。 また、情報発信に積極的で、館入口に設置したモニターにより子どもたちの活動が一目でわかる工夫がなされており、保護者は安心した児童館の利用につながっている。 今後も様々な取り組みを継続していただき、保護者アンケート等により質の高いサービスが提供できるようお願いしたい。

指定管理業務の項目別評価表

			施設名		明野児童館	
評価項目			評価			
			指定管理者		市	
業務運営項目		評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	・施設の目的・基本方針を十分理解し、児童の安全・安心を第1に管理運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染は収束に向かったが、他の感染症の恐れも懸念されたため、引き続き感染予防を継続し、地域の状況の変化を確認しながら少しずつ緩和を進めた。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	・児童の安全・安心を最優先した管理運営を進める中で、施設の目的である児童の健全育成を進めることができた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成している。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	・感染予防の継続により活動内容や利用の制限を行ったため児童館の利用者数は、昨年度比約700人の増にとどまった。 ・放課後児童クラブは待機児童をなくす取組を行ったため、大幅な利用者増となった。	A	児童館の自由来館来館者数が伸びていないが、放課後児童クラブの待機児童対策のため受け入れ児童数を多くして対応している状況である。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	・感染予防の継続により、活動内容や施設利用について一部制限を行ったが、ほぼ計画通りに供用日数・供用時間を達成することができた。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	・児童館担当職員と放課後児童クラブ指導員それぞれの業務内容を明確にし、法に基づく適正で適切な配置と職務の遂行を行った。 ・館長を中心に、全職員体制による安全で安心な児童館運営を行うことができた。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制は明確になっていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	・毎月の利用者数等を正しく把握して管理業務報告書にまとめ、確実に提出できた。 ・子育て応援課との連絡・連携を密にし、利用者の利益を最優先した業務の遂行に努めた。	A	仕様書に基づき毎月の報告がなされた。また、突発的な協議事項については逐一連絡を取り、適正に行った。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	・事業計画書・各種点検記録等を整備し、個人情報等に注意しながら適切に保管している。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	・感染症予防の継続により、児童館行事を通じた地域の方々との交流は自粛した。 ・明野高校福祉科の実習受け入れや、たんぼアートの取組等、できることは可能な限り協力した。	A	高校生の実習の受け入れや地域サークルのイベントの受け入れなどの協力ができた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	・児童館利用者については、受付簿に名前・学年・住所・利用時間等を明記し、体調不良が疑われる場合は利用制限を行った。 ・不審者対策のため、大人の入館については幼児引率の場合のみに限定した。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行なわれていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	・放課後児童クラブの利用料は口座引き落としにより、毎月確実に徴収できた。 ・やむをえず引き落としができなかった場合、保護者に文書通知し現金での納入とした。 その結果、利用料の未納や混乱はなかった。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	・副館長を中心に個人情報の管理を徹底し、安全で確実な保管を心がけた。 ・施設外への持ち出しは厳禁とした。	A	担当係を選任し、個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	・全職員が、放課後児童クラブ運営方針に基づく児童福祉法等関係法令遵守に努めた。 ・保護者からの信頼も十分得られ、不適切な保育等の苦情や問い合わせはなかった。 ・必要に応じて館長や担当者が研修会に参加し、最新の情報を全職員で共有した。	A	法令違反は見受けられない。

指定管理業務の項目別評価表

			施設名		明野児童館	
評価項目			評価			
			指定管理者		市	
業務運営項目		評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	B	・工作教室や大仏山ウオーク、田んぼアートツアーやチャレンジなど、みんなが楽しめる行事・イベントを企画し、児童館だよりや児童クラブだよりで広く紹介した。 ・感染予防の継続により、児童館内での運動系の遊びについては引き続き自粛した。	A	情報発信に取り組み、施設周辺の施設を利用し放課後児童クラブ利用者の増加につなげた。 今後はさらに児童館利用者の受け入れ環境整備についても期待したい。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	A	・遊具や施設の利用について明確なルールを設け、全児童にわかりやすく説明した。 ・課題については毎日の職員打合せで確認し、指導方法の共通理解を図った。 ・特別な支援が必要な児童や課題のある児童には、きめ細かな個別対応を行った。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	・児童館での活動の様子はたよりで保護者に伝え、小学校や保育園にも提供した。 ・イベントや手作りおやつの日には、写真掲示やスライドショー上映を行い好評だった。 ・主な行事予定は、メールの一斉送信サービスや利用カレンダーでも紹介した。	A	たよりの充実の他、児童館入口に設置しているモニターにより保護者へ活動の様子を発信している。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	・緊急時対応マニュアルを策定し、暴風警報等発令時に適切に対応することができた。 ・熱中症警戒アラートやレベル3以上の避難情報が出されたときは、書面で周知した。 ・停電時の連絡手段確保のため、子育て応援課に依頼しポータブル電源を準備した。	A	通常訓練以外のシーンを想定しての訓練を実施し、毎月避難訓練を実施し、緊急時の確認を行っている。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	・毎日のお迎え時にできる限り保護者と対話できる時間を持ち、意思疎通を図った。 ・気になることがあれば担当職員が丁寧に説明した。その結果大きな問題はなかった。 ・保護者アンケートで確認された課題は全職員で共有し、できるだけ迅速に対応した。	A	適切な対応ができる体制ができている。また、市への報告・相談は遅滞なく実施しており、適切であった。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	B	・感染予防を継続したため、室内での遊びやイベントの開催について一部制限を加えた。 ・チャレンジの種目を変更したり、大仏山ウオークの方法を変えたり、室内遊具を増やす等、遊びや行事の工夫を行うことで、児童がのびのびと活動できるようにした。	A	感染症対策にも考慮しながら多岐にわたる事業を実施し、利用ニーズに応えている。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	・管理業務報告書作成時にその月の事業内容を振り返り、改善項目の確認を行った。 ・改善の具体案は全職員で共有し、より質の高い活動ができるよう継続して取り組んだ。 ・保護者アンケートに加え、お迎え時に頂いた保護者の意見をもとに改善活動を行った。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われ、利用者のニーズに対応している。

指定管理業務の項目別評価表

		施設名 明野児童館			
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	・副館長を中心に定期的に施設の安全点検を行い、記録を残すとともに報告を行った。 ・こまめな清掃を心がけ、危険箇所については職員が迅速に応急処置を施し、子育て応援課と相談しながら、児童の安全と利益が保障される環境づくりと整備を進めた。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	・備品および施設の設備は丁寧に使うように心がけ、保守・点検を適切に行った。 ・児童への指導を適宜行い、みんなで使う物を大切にすることを徹底した。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。児童への啓発も行っている。
	③修繕業務	A	・異常箇所や設備の不具合があった場合、子育て応援課と相談の上、迅速に対処した。・修繕・交換・整備について職員で対処できることはできる限り自分たちで行い記録に残した。	A	応急処置の体制、市への報告体制がとれている。
	④清掃業務	A	・職員が分担し毎日館内の清掃を行った。遊具は定期的に消毒・感染対策を行った。 ・職員では対処できない高所の清掃は、工事などの機会に、業者の協力を得て行った。 ・安全で快適な環境整備のため、隣接する児童公園の除草・剪定・土砂の補充を行った。	A	清掃・消毒作業を毎日実施し、利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	・鍵や防犯用器具は所定の場所で確実に管理し、施錠は指導員が確実に行った。 ・退館時は副主任・副館長・館長が再確認することで、確実な防犯対策を行った。 ・子育て応援課の指示で防犯カメラを設置した結果、時間外の防犯対策ができた。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。